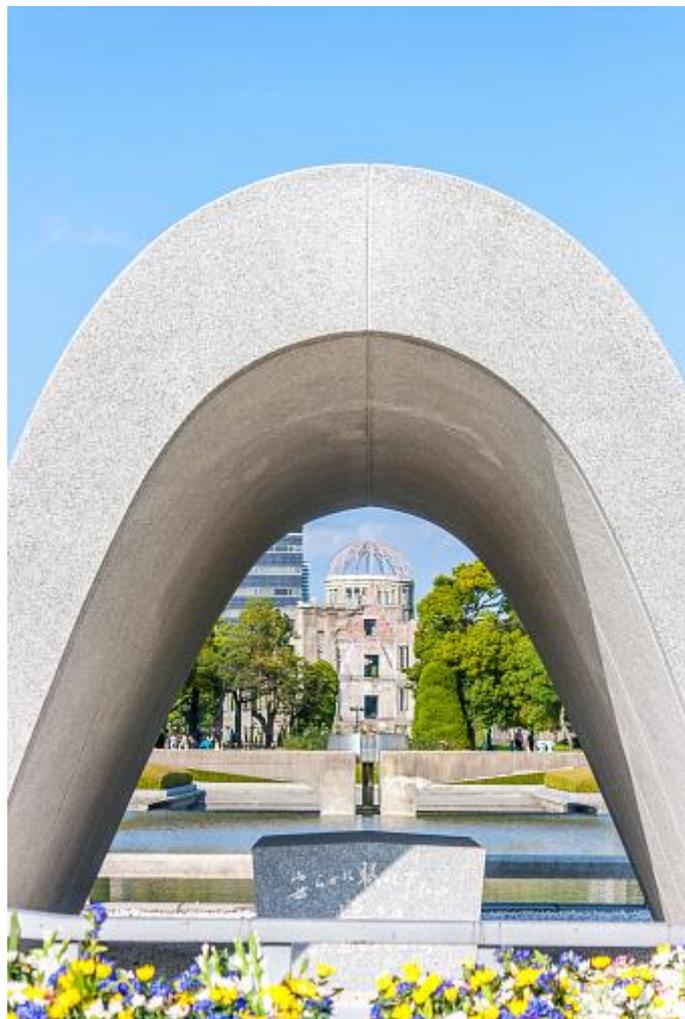


と き：2023年6月10日～11日
と ころ： 広島国労会館

国労家族会全国連合会第57回解散大会



国労家族会全国連合会

目 次

大会次第	2
日程	3
代議員名簿	5
中央常任委員会名簿	6
歴代会長・事務局長からのメッセージ	7
2020・2021・2022（期中）年度 経過報告	11
議題	
① 2020・2021・2022（期中）年度決算について	16
② 2022年度決算後の収支剰余金の処分について	21
③ 家族会全国連合会の解散承認について	21
国労家族会規約	22
（資料）	
家族会全国連合会役員一覧	25
地方連合会会長名簿	28
中央学習会の足あと	29

大会次第

1. 開会あいさつ
2. 資格審査発表・成立宣言
3. 議長・副議長選出ならびに同あいさつ
4. 全国連合会会長あいさつ
5. 来賓あいさつ
6. 2020・2021・2022（期中）年度 経過報告
7. 議題
 - (1) 2020・2021・2022（期中）年度決算について
 - (2) 2022年度決算後の収支剰余金の処分について
 - (3) 家族会全国連合会の解散承認について
8. 議長・副議長の解任
9. 閉会あいさつ

日 程

<第1日目> 6月10日(土)

- 14:00 開場・受付開始
- 15:00 開会あいさつ
議長・副議長選出、同あいさつ
- 15:10 会長挨拶
来賓あいさつ
・国労本部中央執行委員長
・歴代会長
・歴代事務局長
- 15:40 2020・2021・2022（期中）年度 経過報告
質疑・答弁
経過報告の承認
- 16:05 議題
①2020・2021・2022（期中）年度決算について・会計監査報告
②2022年度決算後の収支剰余金の処分について
③国労家族会全国連合会の解散承認について
- 16:30 質疑・答弁
- 16:40 議題の採択
- 16:50 議長・副議長解任、同あいさつ
閉会あいさつ
- 17:00 記念撮影
- …………会場移動…………
- 18:30 夕食・懇親会

<第2日目> 6月11日(日)

7:00 朝食

8:00 ホテル出発 (中国ジェイアールバス貸切)

8:20 旧広島陸軍被服支隊 見学10分

9:00 広島平和記念公園 (噴水前) 到着

コースA、B班編成 (4班) を予定

☆コースA 碑巡り2時間 (1班)

※公園内、十数箇所を巡る健脚コース。

☆コースB 碑巡り1時間・資料館見学1時間 (3班)

※数箇所程度の碑を巡り、じっくりお話を聞くコース。

11:00 平和公園出発

11:20 国鉄原爆死没者慰霊碑 参拝10分

12:00 JR広島駅新幹線口到着・解散

※昼食は各自にて。(昼食代は旅費に含む。)

第57回国労家族会全国連合会解散大会 代議員名簿

地 方	定数	氏 名		
北海道	1	松名 順子		
盛 岡	2	北上 洋子	佐々木香代子	
秋 田	1	宇佐美美香		
仙 台	2	横山ミツヨ	阿部 裕美	
新 潟	1			
高 崎	1	天田 敏子		
水 戸	1	會田 浩美		
千 葉	1	大和田よし子		
東 京	3	深瀬美津子	丸山みどり	奥山 博美
長 野	1	西尾ほずえ		
静 岡	1			
名古屋	1	濱島ちか子		
新幹線	1			
北 陸	1	南 美穂		
近 畿	2	坂口 真美	石割 文	
米 子	1	森脇 栄子		
岡 山	1	小林 淳子		
広 島	1	植田 治子		
四 国	1			
九 州	1	伊藤 真弓		
合 計	25			

※ 青太字は「委任状」提出者。

2020年度国労家族会全国連合会 中央常任委員名簿

役職名	氏名	郵便番号	住所	電話番号
会長	黒澤百合子	003-0803	北海道札幌市白石区菊水三条 2-7-201	011-842-5242
中常委	堀口 智子	963-0541	福島県郡山市喜久田町堀之内字下上ノ台 2-1	080-1827-1933
〃	平野みさと	648-0005	和歌山県橋本市小峰台 1-30-2	090-8937-4303
〃	石田 忍	846-0012	佐賀県多久市東多久別府 2242	0952-76-2836
〃	丸岡美代子	739-0041	広島県東広島市西条町寺家 437-13	090-7507-3917
担当 役員	宮崎 浩則 総務財政部長	105-0004	東京都港区新橋 5-15-5 交通ビル 7階	03-5403-1640

歴代会長・事務局長からのメッセージ

(国鉄分割・民営化1987年4月以降：敬称略)



橋本多江子 (元会長：ご息女 片山美加様 代筆)

この度はご丁寧にご連絡をいただき有り難うございます。せっかくのお誘いではありませんが、90歳と高齢で、現在は心臓に病気がありまして、遠出は難しいと思います。関係者の皆様には色々とお世話になり有り難うございました。

松本 治美 (元会長)

家族会を卒業してからも全国の皆さんと交流は続いていますが、皆さんと逢えるのは20年ぶりになります。

家族会解散は寂しいけれど、お逢いできるのを楽しみにしています。

柳瀬つる代 (元会長)

ご連絡頂き有りがとうございました。

年月の早さを感じますが、皆さんとお会い出来るのが楽しみでたまりません。

家族会で学んだ事が、その後の私の人生（職場の仲間の人間関係）に、いろんな面でプラスになりました。

すばらしい計画を立てて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

有りがとうございました。

小原 鏡子 (前会長)

国労家族会全国連合会が59年という長い歴史の中での今年解散と決定されたことは非常に残念でなりません。

国労組合員も減少する中で、家族会として活動を維持し続けていく難しさは理解できません。それでも全力を注いで闘ってこられた役員や会員の皆様に敬意を表します。長い間ご苦勞様でした。

最後になる2023年6月10日、皆様に会い、今までの活動などの思い出を語り合いたいと切に願っています。

国労執行部の方々、国労家族会の会員の方々、そして国労家族会全国連合会黒澤会長、幹事の方々、本当に長い間お疲れ様でした。

大貫 静子（元事務局長）

30歳で事務局に入り、還暦まで30年。2歳だった娘も退職の頃には二人の子持ちになっていました。国鉄分割民営化の嵐の中の日々でした。

悲しい別れもありましたが、沢山の先輩、仲間と出逢うことが出来ました。とても大きな財産です。

家族会で学んだ多くの事は、現在も私の生活の基礎となっています。

ありがとうございました。

青柳 清美（前事務局長）

国労家族会全国連合会の長年の活躍に敬意を表します。
体調不良のため、参加できないことをお詫び申し上げます。

☆☆ 心温まるメッセージ、ありがとうございました。 ☆☆



はじめに

国労家族会全国連合会第1回結成大会は、1963年（昭和38）10月11日～12日、東京・真成館において開催されました。会員数は47,799名（国労組合員に対して16%）。初代会長は橋田（きった）とよ氏。

運動の目標は、1. 大幅賃上げを勝ち取る、2. 家族会組織の拡大、強化する、3. 地方選挙を勝ち抜く、4. 平和を守る、でした。（全国連合会発行「家族会活動の手引き」から：発行年不明）

以来60有余年、1970年代の国民春闘・スト権スト、1980年代の国鉄分割・民営化反対闘争、1987年から20有余年に渡るJR採用差別に抗して解雇撤回・JR復帰を目指した労働委員会闘争・裁判闘争、またJRに於ける不当な昇進・昇格差別、配転・配属差別等を許さない国労組合員の闘いを、家族会として連帯してきました。

そして今日まで、私たち家族会全国連合会は、1. JRを取り巻く情勢を学ぶ、2. 組織強化・拡大、3. 差別・選別阻止・雇用確保の闘い、4. 社会保障の確立をめざす運動、5. いのちと暮らしを守る運動、6. 女性の権利確立に向けて、7. 平和と民主主義を守る闘い、という7項目の方針をかかげて活動を続けてきました。

また事業計画として、1. 組織の再建に向けてオルグ活動などの実施、2. 国労への差別・選別阻止のための行動、3. 国労家計簿を作成し、記帳・報告活動、4. 女性部、青年部、単産家族会、鉄関労、鉄道退職者の会、女性団体等との連帯、共闘行動、5. 「脱原発」社会を目指し、いのちと平和を守る行動、に積極的に取り組むことにより、情勢に合わせた具体的な年度方針を掲げて活動を続けてまいりました。

この方針と事業計画を継続してゆくことが、国労と共に歩む家族会の方向性であることを認識し、今日まで活動を継続してきました。しかし、家族会の最重要課題である組織拡大と役員の担い手づくりが全国的に厳しくなり、家族会全国連合会は第56回大会（2020年）において、次回大会で解散することを決定してきました。

本日、この広島で大会を開催することを決定した理由の一つに、長期化するロシアのウクライナ侵攻があります。日本では不安定な国際情勢に乗じるかのように不安が煽られ、軍事費の拡大、憲法改正が政権与党および一部野党によって強引に推し進められようとしています。

先月、ここ広島でG7サミットが開催されました。岸田首相の「G7サミットを広島で」、という強い意志のもとで開催されたにもかかわらず、まとめられた「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」は、すでに世界の92カ国が署名している核兵器禁止条約に一言も触れず、それどころか「我々の安全保障政策は、核兵器は、それが存在する限りにおいて、防衛目的のために役割を果たし、侵略を阻止し、並びに戦争及び威圧を防止すべきとの理解に基づいている」とまで述べています。さらに、核兵器廃絶を「究極の目標」とし、「全

ての者にとっての安全が損なわれない形で」達成されるとしています。この立場は、一刻も早い核兵器の廃絶を、というヒロシマ・ナガサキの被爆者の願いとは全く相容れません。このことについて、すでに多くの被爆者団体が失望の声を上げています。被爆者であるサーロー節子さんは、「自国の核兵器は肯定し、対立する国の核兵器を非難するばかりの発信を被爆地からするのは許されない」と批判しました。

明日の平和学習が、過去の大戦の惨禍、何より人類史上、戦争によって初めて原子爆弾が投下されたこの広島で歴史に学び、不戦の誓いを新たにすること。その一助になることを願います。

本日、私たち国労家族会全国連合会は解散しますが、エリア・地方において、一人ひとりが長年の活動を通して得た財産を、それぞれの生活、職場、地域で生かしていくことを今大会において確認し合いたいと思います。

2020・2021・2022（期中）年度 経過報告

1、第56回定期大会（2020年度）

国労家族会全国連合会は2020年10月17日(土)11時より、交通ビル7階会議室において、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から第56回大会を书面開催し、2019年度の経過、決算、監査報告、2020年度の活動方針、予算を承認してきました。

当日本会場に参加したのは、黒澤会長をはじめ中央常任委員堀口、平野の3名、議長に水戸選出の富田代議員、副議長に千葉選出の井村代議員の合わせて5名。

大会代議員26名中23名の書面による参加にて、議題1から8までのすべてを賛成多数（下表参照）で可決し、下記の新役員を選出しました。

第56回大会 議題評決結果（代議員定数 26名 投票者数 23名）

番号	議 題	賛成	反対	白他	合計	評決
議題1	書面大会	23	0	0	23	可決
議題2	議長団選出	23	0	0	23	可決
議題3	経過	22	1	0	23	可決
議題4	2019年度決算及び2019年度監査報告	23	0	0	23	可決
議題5	2020年度活動方針（案）					
議題5-1	国労家族会全国連合会の解散大会を開催します。	21	1	1	23	可決
議題5-2	交流を深め全国組織の財産である団結を強めます。	22	1	0	23	可決
議題5-3	国労と歩む機会を大切に致します。	22	1	0	23	可決
議題5-4	各エリアや地方での活躍を報告し、理解し合い、連帯する機会をつくります。	22	1	0	23	可決
議題5-5	次年度繰越金の一部を各エリア家族会に交付します。	21	2	0	23	可決
議題5-6	次年度繰越金の一部を国労本部青年部及び女性部に寄付します。前年度未払いの支援金も支払います。	19	4	0	23	可決
議題5-7	常任委員会の開催及び宿泊を最大限減らします。	23	0	0	23	可決
議題5-8	大会の諸準備及び方針や経過、財政などの文章を簡素化し、常任委員会の負担を軽くし、経費を減らします。	22	1	0	23	可決
議題6	2019年度未処分収支剰余金の処分について	23	0	0	23	可決
議題7	2020年度予算案	21	2	0	23	可決
議題8	役員改選について	22	1	0	23	可決

上記の集計結果は、第56回大会議題の賛否開票結果に相違はありません。

国労家族会全国連合会 第56回大会 議長 富田 則恵 副議長 井村 博美

新役員 <会長>黒澤百合子（北海道）
<中央常任委員>石田 忍（九州）
堀口 智子（仙台）
平野みさと（近畿）
丸岡美代子（広島）新任

2、第56回大会以降の経過（2021・2022年度）

この間、新型コロナ感染拡大のため、感染防止対策上の観点から第57回解散大会の日程を決めることが出来ず、各エリア・地方連合会会長宛文書を2度（2021年4月28日付、同年7月30日付）郵送し、1度目は各エリア・地方会長と連絡を取り合い、解散大会を2021年10月開催に向けて努力していくこと。2度目は2022年春頃に開催を延期する旨連絡してきました。

2022年に入ると第6波の変異株（オミクロン株）の感染が全国に拡がり、医療など危機的状況が続き、中央常任委員会として、いまだ全国から代議員の選出を要請できる状況ではなく、再度開催を今秋まで延期せざるを得ないと判断し、みたび各エリア・地方連合会会長宛文書（2022年3月16日付）を郵送しました。また、同日付で国労各級機関宛に同内容の事務連絡の発信をお願いしました。

新型コロナウイルスの変異株は、2022年7月にはオミクロン株のBA.2系統から、より感染力が強いとされるBA.5へ置き換わり第7波に突入しました。

家族会としましては、リモートによらず会員の皆様が一堂に会して大会を迎えられることを切に願ってきましたが、その後お盆の時期を経ても感染者数は依然多い状況が続きました。

このような中で、第8回中央常任委員会（2022年9月25日開催）は、本部電送No.175号（2022年3月16日付）にて案内しました事務連絡「国労家族会全国連合会解散大会の日程について」にて、「解散大会の日程は、2022年秋頃を開催予定とします。」としてきましたが、今秋の開催計画は進められないと判断いたしました。

しかし同時に、今後の開催時期の検討に当たり、どこまで延期としていくのか。コロナが終息し、全国の代議員が躊躇なく参加できるようになるまで、という判断基準では開催は難しいのではないかと議論を重ねてきました。

一方、国による国民の移動制限が解除され、全国的に様々な催しも開催されており、第7波のピークアウトも見え、新しいオミクロン株対応2価ワクチン接種も始まりました。

中央常任委員会は地方からの意見も聞かせていただく中で、前回大会から今日まで2

年余りが経過し、これ以上の延期は何としても回避したく、感染対策を徹底し会計年度内（2022年7月1日～2023年6月30日）に、対面およびリモート併用を含めて、開催することとし、本部電送No.53号事務連絡「国労家族会全国連合会第57回（解散）大会の日程について」（2022年10月4日付）を発信し、2023年6月10日から11日、開催地を国労広島会館とすることをお知らせしました。

2022年11月には新型コロナウイルス感染症は第8波に突入し、2023年1月には感染者数が全国で毎日10万人を超える事態となりましたが、ワクチン接種率の拡大と重症化率の減少から、政府は1月20日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同等の5類に見直す方針を決定しました。3月13日からは本人に症状がある場合や、医療機関の受診や高齢者施設の訪問時などについてはマスク着用を推奨しながら、日常の場面においては「個人の判断に委ねる」こととなりました。

2023国労「青年・女性・家族」中央総行動が2月26日、東京大井町「きゅりあん」で開催されました。

中央家族会として、この行動指示は発信できませんでしたが、平野中央常任委員、盛岡家族会の小野寺京子さん、佐々木香代子さん、高崎家族会の横山由美子さん（東日本家族会長）が自主参加され、横浜合同法律事務所の海渡双葉弁護士から「改正育児介護休業法の現状と課題について」の講演と国労青年部・女性部との交流を深められました。また、翌日には国労本部主催による「2023年春闘勝利！ 駅頭宣伝行動」にも参加されました。

第10回中央常任委員会（2023年3月5日開催）は、本部電送No.166号（2023年3月8日付）にて、正式に「国労家族会全国連合会第57回解散大会の開催について」を発信し、同文書を各エリア・地方連合会会長宛郵送しました。

5月8日からは、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の『5類感染症』に位置付けられ、これまで講じてきた各種の施策・措置について見直しが行われることとなりました。

今日においても新規感染者数は全国的に微増傾向にあり、今後も増減を繰り返しながら感染が続くことは避けられないことではありますが、2020年10月第56回大会が書面大会であったことを踏まえると、その前年2019年10月の第55回大会からおよそ4年越しに、本日ここに大会を迎えることができ、一堂に会することが出来たことはこの上ない喜びです。

中央常任委員会の開催と議題

第1回 2020年12月13日（リモート）

- 1) 第56回家族会大会の総括について
- 2) 新役員体制と任務分担について
- 3) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 4) 国労青年部・女性部への寄付について
- 5) 全国連合会解散大会について

第2回 2021年1月31日（リモート）

- 1) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 2) 国労青年部・女性部への寄付について
- 3) 全国連合会解散大会について

第3回 2021年2月21日（リモート）

- 1) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 2) 国労青年部・女性部への寄付について
- 3) 全国連合会解散大会について

第4回 2021年3月28日（リモート）

- 1) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 2) 国労青年部・女性部への寄付について
- 3) 全国連合会解散大会について

第5回 2021年4月18日（リモート）

- 1) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 2) 国労青年部・女性部への寄付について
- 3) 全国連合会解散大会について
※地方家族会へのお手紙（4月28日付）

第6回 2021年5月23日（リモート）

- 1) エリア家族会への第二次組織強化対策費の交付について
- 2) 国労青年部・女性部への寄付について
- 3) 全国連合会解散大会について
※地方家族会へのお手紙（7月30日付）

第7回 2022年1月30日（リモート）

- 1) 2022 年青年・女性・家族中央総行動について
- 2) 第 57 回家族会全国連合会解散大会の準備について
※地方家族会へのお手紙 (3 月 16 日付)

第 8 回 2022 年 9 月 25 日 (リモート)

- 1) 第 57 回家族会全国連合会解散大会の準備について
※地方家族会へのお手紙 (10 月 4 日付)

第 9 回 2023 年 2 月 26 日 (於：東京大井町「きゅりあん」)

- 1) 2023 国労「青年・女性・家族」中央総行動について
- 2) その他

第 10 回 2023 年 3 月 5 日 (於：広島国労会館)

- 1) 第 57 回家族会全国連合会解散大会の準備について
- 2) その他

エリア家族会へ組織強化対策費の交付額 ※組織率…国労組合員

交付年月日	第 1 次 (2019 年度)		第 2 次 (2020 年度)		合 計
	組織率	金額 (円)	組織率	金額 (円)	
2019 年 12 月 24 日			2021 年 5 月 19 日		
エリア	組織率	金額 (円)	組織率	金額 (円)	
北海道	3.0%	30,000	1.8%	36,000	66,000
東日本	67.0%	670,000	70.0%	1,400,000	2,070,000
東 海	8.0%	80,000	7.8%	156,000	236,000
西日本	16.0%	160,000	15.2%	304,000	464,000
四 国	3.0%	30,000	2.4%	48,000	78,000
九 州	3.0%	30,000	2.8%	56,000	86,000
合 計	100%	1,000,000	100%	2,000,000	3,000,000

国労青年部・女性部への寄付額

2021 年 5 月 19 日 2,000,000 円

※国労青年部、女性部は、それぞれ独自の口座がないため、国労本部第 90 回定期全国大会 (2021 年 7 月 15 日～16 日、於：新橋交通ビル) の承認をうけて、国労本部会計に新たに「青年女性活動資金」勘定を設け、特別会計として管理することとなりました。

議題 ①2020・2021・2022（期中）年度決算について

2020 年度決算報告

貸借対照表

2021年6月30日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
預け金	3,188,596	未処分収支剰余金	3,188,596
合計	3,188,596	合計	3,188,596

収支計算書

自 2020年7月1日 ～ 至 2021年6月30日 (単位：円)

支出の部			収入の部	
科目	金額	使途	科目	金額
旅費			雑収入	79
通信交通費			前年度繰越金	7,505,385
事務費				
印刷費				
組織費				
雑費	220	振込手数料		
大会費	161,575	第56回大会（書面）		
役員会費	152,073	第3回（対面）、第1～6回中常（WEB）		
動員費				
諸会議費				
共闘費	3,000	きれいな水2020会費		
予備費	4,000,000	第2次エリア家族会組織強化対策費、国労青年部・女性部寄付金		
収支剰余金	3,188,596			
合計	7,505,464		合計	7,505,464

会計監査報告書

国鉄労働組合
中央執行委員長 松川 聡 殿
国労家族会全国連合会
会 長 黒澤 百合子 殿

2021年 7月 8日
国鉄労働組合
会計監査員 馬橋 博一 ㊞

会計監査員 広瀬 裕二 ㊞

会計監査員 羽生 隆盛 ㊞

国鉄労働組合同規約第52条及び会計規則第41条に基づき、2020年度決算監査を実施しましたので、その結果を次の通り報告します。

1. 監査日時 自 2021年 7月 6日
至 2021年 7月 8日
2. 監査対象
2020年度決算及び2021年6月30日現在の一般会計
3. 監査方法
帳簿・証拠書類の監査
4. 監査結果
 - (1) 会計の事務手続き及び会計の表示については、適正であります。
 - (2) 会計の執行及び運用については、妥当であり、適正であります。

以 上

2021 年度決算報告

貸借対照表

2022年6月30日現在 (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
預け金	3,173,637	未処分収支剰余金	3,173,637
合計	3,173,637	合計	3,173,637

収支計算書

自 2021年7月1日 ~ 至 2022年6月30日 (単位：円)

支出の部			収入の部	
科目	金額	使途	科目	金額
旅費			雑収入	41
通信交通費			前年度繰越金	3,188,596
事務費				
印刷費				
組織費				
雑費				
大会費				
役員会費	12,000	第7回中常 (WEB)		
動員費				
諸会議費				
共闘費	3,000	きれいな水 2021 会費		
予備費				
収支剰余金	3,173,637			
合計	3,188,637		合計	3,188,637

会計監査報告書

国鉄労働組合
中央執行委員長 松川 聡 殿
国労家族会全国連合会
会 長 黒澤 百合子 殿

2022年 7月13日

国鉄労働組合

会計監査員 馬橋 博一 ⑩

会計監査員 広瀬 裕二 ⑩

会計監査員 羽生 隆盛 ⑩

国鉄労働組合同規約第52条及び会計規則第41条に基づき、2021年度決算監査を実施しましたので、その結果を次の通り報告します。

5. 監査日時 自 2022年 7月11日
至 2022年 7月13日

6. 監査対象

2021年度決算及び2022年6月30日現在の一般会計

7. 監査方法

帳簿・証拠書類の監査

8. 監査結果

- (1) 会計の事務手続き及び会計の表示については、適正であります。
- (2) 会計の執行及び運用については、妥当であり、適正であります。

以 上

2022 年度決算報告(期中)

貸借対照表

2023年4月10日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
預け金	2,931,081	未処分収支剰余金	2,931,081
合計		合計	

収支計算書

自 2022年7月1日 ～ 至 2023年4月10日

(単位：円)

支出の部			収入の部	
科目	金額	使途	科目	金額
旅費			雑収入	30
通信交通費			前年度繰越金	3,173,637
事務費				
印刷費				
組織費				
雑費	3,678	広島地本土産代、 振込手数料		
大会費	10,760	大会議題集写真整理		
役員会費	228,148	第8・9・10回中常		
動員費				
諸会議費				
共闘費				
予備費				
収支剰余金	2,931,081			
合計	3,173,667		合計	3,173,667

議題 ②2022 年度決算後の収支剰余金の処分について

全国連合会 2022 年度決算ならびに収支剰余金の処分については、第 57 回解散大会終了後、速やかに決算作業を行い、収支剰余金が生じた場合には金額の多少に関わらず、会計年度末（6 月 30 日）までに全額をエリア家族会に組織比率（国労組合員）に応じて交付します。

そのうえで、国労本部 2022 年度決算監査（2023 年 7 月 10 日～12 日）を受け、国労第 92 回定期全国大会（2023 年 7 月 27 日～28 日）に報告し、承認を得ます。

8 月上旬、各エリア・地方家族会長宛、書面にて決算ならびに処分内容をお知らせします。

議題 ③家族会全国連合会の解散承認について

全国連合会は、去る 2020 年 10 月 17 日に開催された第 56 回大会決定に基づき、本日 2023 年 6 月 10 日をもって解散します。

国劳家族会規約

第1条 この会は国劳家族会連合会といい（以下単に「連合会」といいます）事務所を東
京都港区新橋5-15-5交通ビルにおきます。

第2条 連合会は地方本部毎に結成された家族会員で組織します。

家族会員は、

- (1) 国劳組合員及び国劳退職者家族
- (2) この会の趣旨に賛同するJR社員家族とJR関連会社社員家族及び退職者

第3条 連合会は国鉄労働組合と緊密な連携のもとに、国劳家族相互の連絡をとりあって
婦人解放運動を推進します。

第4条 連合会は次の事業を行います。

1. 労働運動に対する理解と協力を進める活動
2. 家族会相互の親睦交流を深める活動
3. 平和と民主主義、婦人の権利を守る活動
4. 子供の生活、健康、教育を守る運動
5. 婦人の地位を高める学習活動
6. 地域活動を活発にする活動
7. その他目的達成に必要な事業

第5条 連合会に次の機関を置きます。

1. 大会
2. 役員会

第6条 大会は連合会の最高決議機関で、毎年1回国鉄労働組合全国大会終了後1カ月以
内に会長が招集します。

ただし、役員会が必要と認めたとき、または地方本部家族3分の2以上が要求し
た場合は臨時大会を開きます。

第7条 大会は地方本部毎に選出された代議員及び役員で構成し、代議員総数の3分の2以上の出席により開催します。

代議員の選出基準は別表のとおりとする。

家 族 会	代 議 員 数
_____ ~ 4 0 0 名 まで	1 名
_____ 4 0 1 名 ~ 1, 0 0 0 名 まで	2 名
_____ 1, 0 0 1 名 ~ 2, 0 0 0 名 まで	3 名
_____ 2, 0 0 1 名 ~ 4, 0 0 0 名 まで	4 名
_____ 4, 0 0 1 名 ~ 6, 0 0 0 名 まで	5 名
_____ 6, 0 0 1 名 ~ 8, 5 0 0 名 まで	6 名
_____ 8, 5 0 1 名 ~ 1 1, 0 0 0 名 まで	7 名

第8条 大会の議長、副議長は、出席代議員のなかから選出し、議事は出席代議員の半数によって決定します。

第9条 役員会は必要に応じ開催し、大会で決定された事項を処理し、国労家族会運営の具体的事項を審議決定します。

第10条 役員会は会長、常任委員で構成し、役員会の議長は会長があたります。

第11条 連合会に次の役員をおきます。

会 長	1 名
常 任 委 員	若干名

第12条 連合会に次の専門部をおくことができます。
専門部の部長は常任委員があたります。

組織部、文教部、会計部

第13条 会長は連合会を代表して一切の業務を総括します。
常任委員は業務を分担して運営にあたります。
連合会の会計は大会に報告します。

第14条 連合会の役員の選出及び任期は次によります。

1. 役員は大会で会員中より選出します。
2. 任期は2年とし再選を妨げません。

第15条 連合会の維持は次によります。

1. 会費
2. 組合よりの交付金
3. 寄付金、その他

附 則

第2条連合会の規約の改正は大会で3分の2以上の賛成がなければ改正できません。

第3条連合会の規約は昭和37年10月11日より実施します。

第1回	昭和42年11月	一部改正
第2回	昭和45年5月	一部改正
第3回	昭和46年7月	一部改正
第4回	昭和47年5月	一部改正
第5回	昭和49年9月	一部改正
第6回	昭和51年9月	一部改正
第7回	昭和52年9月	一部改正
第8回	昭和53年10月	一部改正
第9回	昭和58年10月	一部改正
第10回	平成3年10月	一部改正
第11回	平成6年10月	一部改正
第12回	平成9年10月	一部改正
第13回	平成19年11月	一部改正
第14回	平成23年11月	一部改正
第15回	平成24年9月	一部改正
第54回	平成30年10月	一部改正

(資料) 家族会全国連合会役員一覧

大会	開催場所	会長／事務局長	中央常任委員
1987/10 第25回	熱海・いでゆ荘	橋本多江子(仙台) 大貫静子(東京)	後藤静子(釧路)、小野寺京子(盛岡)、 佐野昭子(新潟)、松本治美(岡山)
1988/9 第26回	伊豆大川 国劳教 育センター	橋本多江子(仙台) 大貫静子(東京)	後藤静子(釧路)、小野寺京子(盛岡) 佐野昭子(新潟)、松本治美(岡山)
1989/11 第27回	全国交運共済 東高円寺会館	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、高橋俊子(盛岡) 木村優子(東京)、三尾さとみ(名古屋) 逢坂節子(四国)、
1990/10 第28回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、高橋俊子(盛岡) 木村優子(東京)、三尾さとみ(名古屋) 逢坂節子(四国)、柳瀬つる代(門司)
1991/10 第29回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、二瓶さち子(仙台) 中島佳美(高崎)、柳原真千子(大阪) 柳瀬つる代(門司)
1992/10 第30回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、二瓶さち子(仙台) 中島佳美(高崎)、柳原真千子(大阪) 柳瀬つる代(門司)
1993/9 第31回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、佐野昭子(新潟) 木村優子(東京)、山田桂子(南近畿) 柳瀬つる代(門司)
1994/10 第32回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、佐野昭子(新潟) 木村優子(東京)、本田い志(静岡) 山田桂子(南近畿)、柳瀬つる代(門司)
1995/9 第33回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、川島陽子(盛岡) 清水三枝(長野)、尾崎久美子(名古屋) 村上厚子(広島)、柳瀬つる代(門司)
1996/9 第34回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、川島陽子(盛岡) 清水三枝(長野)、尾崎久美子(名古屋) 村上厚子(広島)、柳瀬つる代(門司)
1997/10 第35回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、二瓶さち子(仙台) 佐藤温子(東京)、本田い志(静岡) 清水三恵子(北陸)、柳瀬つる代(九州)
1998/11 第36回	伊豆大川 国劳教 育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	今井幸子(旭川)、二瓶さち子(仙台) 佐藤温子(東京)、本田い志(静岡) 清水三恵子(北陸)、柳瀬つる代(九州)

1999/11 第 37 回	伊豆大川 国労 教育センター	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	高橋美枝子(釧路)、北沢江利子(新潟) 唐澤久美子(高崎)、橋本照子(近畿) 柳瀬つる代(九州)
2000/4 第 38 回	東京 後楽園会 館	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	高橋美枝子(釧路)、北沢江利子(新潟) 唐澤久美子(高崎)、橋本照子(近畿) 柳瀬つる代(九州)
2001/12 第 39 回	東京 芝・弥生会館	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	金子美登里(札幌)、高橋俊子(盛岡) 村田久美(東京)、嶋田初江(静岡) 山田桂子(近畿)、柳瀬つる代(九州)
2003/3 第 40 回	マホロバマイ ズ三浦	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	金子美登里(札幌)、高橋俊子(盛岡) 村田久美(東京)、嶋田初江(静岡) 山田桂子(近畿)、柳瀬つる代(九州)
2004/2 第 41 回	マホロバマイ ズ三浦	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	渡邊光子(秋田)、渡辺真理子(水戸) 尾崎久美子(名古屋)、植田治子(広島) 柳瀬つる代(九州)、
2004/11 第 42 回	マホロバマイ ズ三浦	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	渡邊光子(秋田)、渡辺真理子(水戸) 尾崎久美子(名古屋)、植田治子(広島) 柳瀬つる代(九州)
2005/11 第 43 回	山梨 勝沼町ぶどうの 丘	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	長縄真由美(北海道)、真屋恵美子(東日本) 上村尚子(東日本)、南清美(西日本) 柳瀬つる代(九州)
2006/12 第 44 回	山梨 勝沼町ぶ どうの丘	松本治美(岡山) 大貫静子(東京)	長縄真由美(北海道)、真屋恵美子(東日本) 上村尚子(東日本)、南清美(西日本) 柳瀬つる代(九州)
2007/11 第 45 回	マホロバマイ ズ三浦	柳瀬つる代(九州) 青柳清美(東京)	宮腰美笑子(北海道)、諏訪育子(東日本) 橋本照子(西日本)
2009/12 第 46 回	五反田 ゆうぼうと	柳瀬つる代(九州)	黒澤百合子(北海道)、青柳清美(東日本) 千葉裕子(東日本)、磯崎幸子(西日本)
2011/11 第 47 回	熱海 ホテル池田	小原 鏡子(東京)	黒澤百合子(北海道)、富田則恵(東日本) 小林淳子(西日本)
2012/9 第 48 回	熱海 ニューフ ジヤホテル	小原 鏡子(東京)	黒澤百合子(北海道)、富田則恵(東日本) 小林淳子(西日本)
2013/10 第 49 回	松島 ホテル大観荘	小原 鏡子(東京)	黒澤百合子(北海道)、富田則恵(東日本) 久保田勝美(東日本)、小林淳子(西日本)
2014/9 第 50 回	箱根・開雲	小原 鏡子(東京)	黒澤百合子(北海道)、小林淳子(西日本) 久保田勝美(長野)、石田 忍(九州)

2015/9 第 51 回	箱根・開雲	黒澤百合子 (北海道)	兼平貴子 (盛岡)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)
2016/9 第 52 回	箱根・開雲	黒澤百合子 (北海道)	兼平貴子 (盛岡)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)
2017/9 第 53 回	東京・大井町 アワーズイン	黒澤百合子 (北海道)	堀口智子 (仙台)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)
2018/10 第 54 回	東京・大井町 アワーズイン	黒澤百合子 (北海道)	堀口智子 (仙台)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)
2019/10 第 55 回	東京・大井町 アワーズイン	黒澤百合子 (北海道)	堀口智子 (仙台)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)
2020/10 第 56 回	東京・交通ビ ル (書面開催)	黒澤百合子 (北海道)	堀口智子 (仙台)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)、丸岡美代子 (広島)
2023/6 第 57 回	広島・国労広 島会館	黒澤百合子 (北海道)	堀口智子 (仙台)、平野みさと (近畿) 石田 忍 (九州)、丸岡美代子 (広島)

国労家族会地方連合会会長名簿

2023年6月現在

地 方	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号
旭 川	松名 順子	078-8319	北海道旭川市神楽岡9条 4-3-9	0166-86-2502
札 幌	黒沢百合子	003-0803	北海道札幌市白石区菊水3条 2-7-201	011-649-5020
盛 岡	北上 洋子	039-1521	青森県三戸郡五戸町久蔵窪 13-3	0178-62-6840
秋 田	後藤 富子	019-2111	秋田県大仙市土川字大楽 167	0187-75-2291
仙 台	阿部 裕美	963-8874	福島県郡山市深沢 1-2-35JRAP1-306	090-7563-6962
高 崎	天田 敏子	379-0103	群馬県安中市秋間 395-3	027-382-0382
水 戸	富田 則恵	319-0324	茨城県水戸市五平町 1800	090-2141-8426
東 京	丸山みどり	384-0045	長野県小諸市滝原 846-1	0267-26-2630
長 野	西尾ほずえ	399-0728	長野県塩尻市峰原 170-29	090-8333-8352
名古屋	濱島ちか子	470-0224	愛知県みよし市三好町土取 87-21	0561-32-2927
北 陸	南 美穂	910-3104	福井県福井市布施田町 11-2-1	090-8266-4027
近 畿	坂口 真美	617-0002	京都府日向市寺田町山縄手 10-8	090-2011-6691
米 子	森脇 栄子	692-0211	島根県安来市伯太町母里 65	0854-37-0376
岡 山	小林 淳子	701-0151	岡山県岡山市北区平野 738-9	086-293-4510
広 島	植田 治子	731-0137	広島県広島市安佐南区山本 6-14-10-5	090-7547-0005
四 国	山口 栄子	798-8001	愛媛県八幡浜市大谷口 1-6-2	0894-20-8015
九 州	石田 忍	846-0012	佐賀県多久市東多久別府 2242	0952-76-2836

家族会中央学習会の足あと

… 国鉄分割・民営化1987年4月以降

※ 国労本部執行部からの報告（「国労の現状について」）は省略しました。

1987年6月10～11日 交運共済東高円寺会館

- ① 「昭和電工における反首切り闘争」 講師 山下俊幸 氏（国鉄分割民営化に反対する国民会議）
- ② 「全林野における主婦会活動」 講師 秦会長（全林野主婦の会）

1992年6月6～7日 交運共済東高円寺会館

- ① 「国労に想う」 講師 滝野嘉津子 氏
- ② 「従軍慰安婦問題について」 講師 津和慶子 氏

1993年5月29～30日 交運共済東高円寺会館

- ① 「男女混合名簿からみえてくるもの」 講師 川合真由美 氏（国立第4小学校教諭）
- ② 「パートの解雇から」 講師 大本徹 氏（新白砂パート・社員労働組合副委員長）

1994年6月11～12日 交運共済東高円寺会館

- ① 「パート労働について」 講師 中野麻美 氏（弁護士）
- ② 「消費税廃止にむけて」 講師 常松裕志 氏（前衆議院議員）
- ③ 「女性の生き方と私たち」 講師 吉武輝子 氏（評論家）

1995年5月13～14日 中野サンプラザ研修室

- ① 「女性闘争団とともに」 講師 内村智子 氏（鹿児島闘争団）

1996年5月25～26日 五反田ゆうぼうと研修室

- ① 「国労と私」 講師 左幸子 氏（女優）
- ② 「どんな老いを迎えるの」 講師 木村栄 氏（フリーライター）

1998年5月9～10日 中野サンプラザ研修室

- ① 「電磁波そして環境汚染。遺伝子組み換え食品」
講師 船瀬俊介 氏（環境問題評論家）
- ② 「いまJR現場では」

茂木 博 氏 (品川運転所)
谷崎正信 氏 (池袋駅)
佐藤洋子 氏 (新宿駅・国労本部婦人部長)

1999年5月8～9日 中野サンプラザ研修室

- ① 「介護保険について」 講師 武田恵 氏 (東大和市特別養護老人ホームさくら苑々長)

2000年5月13～14日 五反田ゆうぼうと研修室

- ① 映画鑑賞「太陽は、ぼくの瞳」
- ② 「介護保険が実施されて」 講師 武田恵 氏 (東大和市特別養護老人ホームさくら苑々長)

2002年5月18～19日 中野サンプラザ研修室

- ① 映画鑑賞「平塚らいてふの生涯」(岩波ホールにて)
- ② 「介護はいま」 講師 武田恵 氏 (前東大和市特別養護老人ホームさくら苑々長)

2003年6月21～22日 五反田ゆうぼうと研修室

- ① 「有事法制・北朝鮮・民族差別」 講師 鄭暎恵 氏
(大妻女子大学助教授)
- ② 「原発と電力不足」 講師 石丸小四郎 氏
(双葉地方原発反対同盟)

2004年5月22～23日 交通ビル B1ホール

- ① 「女性と年金」 講師 山崎久民 氏 (税理士)
- ② a 映画鑑賞「上海家族」
b 「私に似合う色って？」 講師 安原富美子 氏
(カラーコーディネーター)
- ③ 「女性労働の多様性と問題」 講師 中野麻美 氏 (弁護士)

2005年5月21～22日 後楽園会館研修室

- ① 「改憲論議の読み方」 講師 豊秀一 氏 (朝日新聞社会部記者)
- ② 「働く女性をめぐる環境」 講師 野口やよい 氏 (フリーライター)

2006年5月27～28日 中野サンプラザ研修室

- ① 「今こそ憲法」 講師 伊藤真 氏 (法学館伊藤塾々長)
- ② 「郵政民営化を現場から」 講師 大塚優子 氏
- ③ 「憲法九条の国際的意義」 講師 吉岡達也 氏 (ピースボートジャパン共同代表)

2007年6月9～10日 五反田ゆうぼうと研修室

- ① 朗読鑑賞「ウミガメと少年」 吉永小百合 氏
- ② 「教育基本法と学校現場」 講師 西田衣里 氏 (日教組中執)
- ③ 「憲法と教育基本法をめぐる情勢と私たちの課題」
講師 小森陽一 氏 (九条の会：東京大学教授)

2008年11月29～30日 芝弥生会館

- ① 「働く女性の実情」 講師 鴨桃代 氏 (全国ユニオン代表)
- ② レクリエーション：屋形船「お台場クルーズ」

2010年12月4～5日 茨城県つくばセミナーハウス

- ① 「子どもの食育・大人の食育」 講師 勅使河原千津 氏 (栄養士)

2011年11月26～27日 熱海・ホテル池田

- ① 「3・11原発事故と放射能について」 講師 板橋志保 氏 (高木学校)

2012年9月29～30日 熱海・ニューフジヤホテル

- ① 「原発事故と東京電力ー原発と自治体と電気料金」
講師 布施哲也 氏 (反原発市民連盟共同代表)

2013年10月5～6日 仙台・ホテル松島「大観荘」

- ① 「福島第一原発の現状と今後の課題」 講師 亀谷保夫 氏
(東北全労協事務局長)

2014年8月27～28日 箱根・箱根路「開雲」

- ① 「被災地の現状と課題」 講師 木幡ますみ 氏
(大熊町の明日を考える女性の会)

2014年9月30日～10月1日

- ① 「年金制度と私たちの生活」 高田育穂氏 (中央労働金・年金手続きサポーター)

2015年9月27～28日 箱根・箱根路「開雲」

① 「憲法と労働法改悪 ～いま、未来を拓く一歩～」

講師 上条貞夫 氏（弁護士：東京法律事務所）

2016年9月25～26日 箱根・箱根路「開雲」

① 「憲法改正と自民党改憲草案等について」

講師 岡田尚 氏（弁護士：岡田尚法律事務所）

2018年9月30日～10月1日 大井町「アワーズイン阪急」

① 「女性差別・ハラスメント Me too」 講師 海渡双葉 氏

（弁護士：横浜合同法律事務所）

